分類 C-１-①-イ	物事を批判的に考察し判断しようとする

物事を批判的に考察するとともに自分の考えを表現できる力の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト　兵庫県立小野高等学校　　宇野　浩

本時の目標		
・これまでの授業で読んできた評論文の構成を利用し、自分が違和感を覚える世間の常識に対して自分の意見を表現する。	校種・学年	高等学校・１年
	教科・領域	国語・現代の国語
	アプリ・ソフト	・ロイロノート
	備考	

○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	○本時のめあてを確認 これまで学んできた評論文の構成を利用し、自分が違和感を覚える世間の常識に対して自分の意見を表現しよう
展開	○「違和感のある常識（通念）」を設定する。 ◆個人でインターネットを使い情報収集し、ロイロノートのカードに記入 ○班で共有（ロイロノートの共有ノートで） ◆班で共有、分類することで思考を整理 ①班員のカードを共有ノート上に集める。 ②シンキングツールの熊手チャートで分類 ○完成した共有ノートから通念を一つ選び、　構成図に記入。それに対する自分の主張、理由、具体例を構成図に記入 ◆既読の評論の構成図に従って作成 ○完成した構成図を文章化 ◆ロイロノートの記述アンケートを使用
まとめ	○振り返りシートを記入 ◆ロイロノートの記述アンケートを使用

育成できる情報活用能力

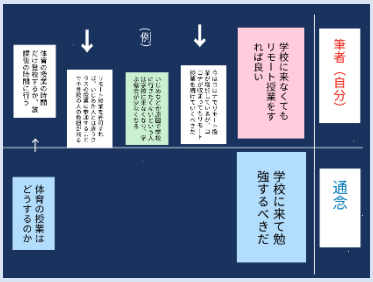
◎インターネットで参考となる情報を収集できるようにする。

育成できる情報活用能力

◎他者と共同作業を進めていく中で、自分と異なる意見に触れ、自分にない視点に気付いたり、新たな考えを生み出したりすることができる。

育成できる情報活用能力

◎通念に対する自分の意見を理由や具体例とともに表現することができる。



生徒の感想

・普段当たり前だと思い込んでいることでも、本当にそれが正しい通念なのか改めて疑ってみることで新しい考えやより良い意見などが浮かびあがった。
・書くということには、まず自分の考えをしっかり整理することが重要だと思った。

＜情報活用能力の育成とその効果＞

・端末を使った共同学習は、話し合いが活性化し、一人では気付かなかった新たな考えを創出することができた。
・端末上で構成図を作ることにより書き直しが容易になり、繰り返し推敲することができた。

分類 C-1-①-イ	新たな視点を受け入れて検討しようとする

作成した作品をクラウドに保存し、批評を通じて自身の表現を多角的に捉えようとする態度の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト　兵庫県立伊丹高等学校　進藤健裕

本時の目標	校種・学年	高等学校・3年
・前時までに作成した和歌もしくは漢詩をもとにしたポスターを、相互評価することで、自身の作品を改善することができる。 ・級友の作品を鑑賞し、ルーブリックを用いた適切な評価と批評を加えることができる。 ・和歌、漢詩に使われている修辞技法が理解でき、活用することができる。	教科・領域	国語・古典 B
	アプリ・ソフト	・ロイロノート　・PowerPoint ・Google スライド
	備考	

〇本時の展開

	〇学習活動（◆指導上の留意点）
導入	〇めあてを確認する。 他者からの指摘を活かし、自身の作品を改善し、完成度を高める。 〇アプリの「アンケート機能」を活用し、級友の作品を鑑賞、批評する。 ◆評価に必要なルーブリックはあらかじめロイロノート上で確認することを伝える。
展開	〇各自で級友の作品を鑑賞し、適宜アンケート機能を使って鑑賞、批評する。 〇評価を受けた自身の作品を改善する。 ◆評価できるポイントと改善を要するポイントをルーブリックとは別に記述することを伝える。 ◆評価に関しては班で合意形成を行うことを伝える。
まとめ	〇級友からの評価をもとに改善した作品を提出。 ◆和歌、漢詩の作成及び相互評価を通じて、自分自身にどのような力がついたのか、また何が変容したのかを振り返らせる。

育成できる情報活用能力

◎手元の資料やルーブリックをもとに、クラウド上の他者の作品を評価することができる。

育成できる情報活用能力

◎自身の作品について評価されることで多角的に自身の活動を振り返ることができる。

生徒の感想

・友達の考えを知るのは楽しかったし、同時に批評する難しさを感じた。
・自分の作品を見直し、自身の成長を感じることができたと思った。
・修辞技法の使い方が工夫されていて、読みながら深い解釈を考えてしまうものがあった。

＜情報活用能力の育成とその効果＞

・投稿した作品をその場で批評し合うことで、他者との比較を通じた多角的に確認、検討する能力を育むことができる。
・適切な画像や文字の配置等を一人一台端末でデザインすることで、基礎的な ICT 技術の習得を養うことができる。